

1 調査日 令和7年8月18日（月）

2 調査の概要

（1）米原高等学校（米原市）

現在、滋賀県では北の近江振興プロジェクトとして「住み続けたくなる還りたくなる北部へ」「挑戦する若者が育ち・集う北部へ」「訪れたくなる北部へ」という3つのアプローチから、「移住および地域とつながる人（関係人口）を3千人増やす」ことを目標としてプロジェクト事業を多面的に実施している。

プロジェクトの一環として、本年2月に「北の近江振興高校生サミット」が開催された。滋賀県北部地域にある9つの県立高校の生徒から地域の魅力活用や課題の解決策が発表され、米原高校からは米原市の特産品の認知度を高める手法として、若者と地元企業との協働に関する提案が行われた。

本委員会では「北の近江振興プロジェクトの進化・発展について」を重点審議事項に掲げており、地域での探究的な学びを深めた米原高校の生徒との県民参画委員会を開催し、未来の北部振興に挑戦する人材等について調査を行った。



（2）滋賀県防災航空隊（日野町北脇）

防災航空隊は平成8年4月に発足し、救急搬送等の救急活動、水難事故や山岳遭難における人命救助活動、林野火災等における空中からの消火活動、自然災害や大規模事故が発生した場合の災害応急活動、大規模災害時には都道府県域を越えた応援活動を実施している。

そのような中、本年4月には林野火災が県内で2件相次いで発生したが、2件とも消防車や防災ヘリによる迅速な消火活動を経てほどなく鎮火するなど、防災ヘリコプターが果たした役割は大きく、今後発生する様々な自然災害に対し、その重要性はますます増していることから、防災航空隊で行われている各種業務や林野火災等における防災ヘリコプターの運用状況について調査を行った。

